

平成20年度 事務事業評価シート

事前評価日		平成20年5月19日		No.		3014 09										
基 本 本 事 項	事務事業名			障がい児(者)一時介護支援事業		所管部署名		健康福祉部 社会福祉課 自立支援係								
	事業期間		平成14年度 ~ 未設定		事業年齢		6歳		事前評価責任者		岡田忠篤		連絡先		048 - 982 - 9530	
	事業区分		<input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		根拠法令等		障害者自立支援法・吉川市介護福祉総合条例							
	事務事業の性質			毎年繰り返し					執行方法		一部委託 <small>日中一時支援事業は指定施設に委託 一時介護等助成事業は利用料の助成</small>					
	基 と 本 の 計 画 係	関連付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有		<input type="checkbox"/> 無		直接事業費		<input checked="" type="checkbox"/> 有			<input type="checkbox"/> 無			
		大綱		元気でやさしさあふれたまちづくり(健康福祉部門)					歳 出 予 算 科 目	事業名		生活援助サービス事業				
		大柱		みんなが支えあう障害者(児)福祉の推進						会計区分		一般会計				
		中柱		地域生活支援						款		民生費				
		小柱		在宅福祉サービスの推進						項		社会福祉費				
	第4期実施計画の位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有		<input type="checkbox"/> 無		前年度の事務事業有無・管理番号			<input checked="" type="checkbox"/> 有		<input type="checkbox"/> 無		301409		
目 的 的	対象(誰を、何を)		①障がい児(者)一時介護等利用料助成事業 在宅の身体、知的障がい児(者)で利用登録したもの ②日中一時支援事業 在宅の知的障がい児(者)					手 段 (どのよう な事業を 行うのか)	①民間団体等が運営する介護サービス等の利用料を一部助成する。 ②市が委託した指定事業所に在宅の知的障がい児(者)を日中預ける(日帰りショートステイ)							
	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)		介護者の介護負担と経済的負担を軽くする。						事 務 事 業 を 取 巻 く 環 境 の 変 化 ・ 実 施 上 の 課 題		市内に事業所がなく、利用しにくい。					
	類似事業		<input type="checkbox"/> 有		<input checked="" type="checkbox"/> 無											
	業務プロセス(No.・名称)		<input checked="" type="checkbox"/> 有		<input type="checkbox"/> 無		650409 一時介護等利用料助成		650408 一時介護等利用料助成事業介護人登録							
事業関連ホームページ		<input checked="" type="checkbox"/> 有		<input type="checkbox"/> 無		http://www.city.yoshikawa.saitama.jp/9,817,53.html										

区分	区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度			平成21年度	平成22年度	
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
投 入 コ ス ト	① 直接事業費	834	968	1,072	900	-68	1,082	1,082	
	② 人件費	422	516	521	252	-264	252	252	
	正職員直接投入人員	0.05人	0.06人	0.06人	0.03人	-0.03人	0.03人	0.03人	
	正職員間接投入人員								
	③ 間接経費(加算)								
④ コスト対象外(除外)									
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	1,256	1,484	1,593	1,152	-332	1,334	1,334		
資 源	⑥ 国庫支出金	53	118	270	210	92	234	234	
	国補助率	1/2	1/2	1/2	1/2	0	1/2	1/2	
	⑦ 県支出金	26	59	135	105	46	117	117	
	県補助率	1/4	1/4	1/4	1/4	0	1/4	1/4	
	⑧ 市債								
⑨ その他									
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)									
受益者負担率(⑩÷⑤)									
C	吉川市年間負担経費(A-B)	1,177	1,307	1,188	837	-470	983	983	
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助		<input checked="" type="checkbox"/> 一部補助		<input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input type="checkbox"/> 吉川市単独	

目 標 設 定 実 績	区分	指 標 名 (上段)		単 位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
		計 算 式 ・ 説 明 (下段)			目標(見込)値	目標(見込)値	目標(見込)値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	①	身体障がい児(者)、知的障がい児(者)		人	1,650	1,718	1,798	1,875	1,951
		身体障害者手帳、療育手帳所持者数			1,648	1,728	1,799		
活 動 指 標	①	利用登録者数		人	70	73	60	60	60
		一時介護等利用料助成事業			69	59	59		
	②	介護人登録事業所数		箇所	6	7	7	7	7
		一時介護等利用料助成事業			6	6	6		
		日中一時支援契約施設数			2	3	3		
③	日中一時支援契約施設数		箇所	2	2	2	3	3	
	日中一時支援契約施設数			2	2	2			
成 果 指 標	①	一時介護利用料助成事業利用者数		人	25	23	24	20	20
		一時介護利用料助成事業利用者数			23	25	13		
	②	日中一時支援利用者延べ人数		人	12	24	25	30	30
		日中一時支援利用者延べ人数			12	31	36		

業 績 評 価	区分	評価指標名(上段) / 指標の性質(下段)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	成果向上とコスト改善ポジション 現状成果水準・コスト改善の取組を 今後も維持・発展 大 ↑ 成果向上 ↓ 小 小コスト減少 大	
	目標達成度	① 利用登録者数 増加することが良いとされる指標	98.57% ★★★★ 概ね達成された	80.82% ★★★★ 概ね達成された	98.33% ★★★★ 概ね達成された		
	成果結果	② 日中一時支援利用者延べ人数 増加することが良いとされる指標	100.00% ★★★★★ 達成された	129.17% ★★★★★ 達成された	144.00% ★★★★★ 達成された		
	効率性	単位 当たり コスト ①	トータルコスト × 1,000円 利用登録者数	単位 円/人	平成19年度 25,160		平成20年度 19,530 ↑
説明	単位当たり経費変動率(当該年度単位コスト÷前年度単位コスト)÷前年度単位コスト) -22.38%					コストが減少している	
平成18年10月から日中一時支援事業を開始し、日中一時支援事業の延べ利用者数は伸びているが、一時介護等利用料助成事業の延べ利用者数は大幅に減少した。							

官 民 役 割 分 担 評 価	公共性	実施主体の妥当性	市の関与の妥当性	受益者負担の妥当性
	提供の対象者の偏りもない、突出した必需性も見当たらないサービス 	政策的及び専門性について、中間に位置するサービス 	高 10 5 0 -5 -10 低 改善の必要性 小 大 改善の必要性 小 大	高 10 5 0 -5 -10 低 改善の必要性 小 大

事 業 性 評 価	区分	評価	評価判断理由
	妥 当 性	役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 問題あり
目的(対象・手段)		<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり	市内に事業所がないこと。
意図		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 問題あり	民間団体、NPOにより運営されている事業所が、柔軟できめ細やかなサービスを提供しており、意図は適当である。
有効性		成果向上の余地 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	市内での事業所立ち上げが実現すれば、成果は大きく向上する。
効 率 性	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	介護負担の軽減に貢献している。
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	扶助費以外のコストは、人件費のみであり、その費用も最低限であるとする。
	受益者負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	一時介護助成事業は、利用者の負担について市が助成するものである。日中一時支援は、原則1割負担としており、所得に応じ負担率を下げて軽減を行っている。

改革	これまでの事業の改善状況とその内容	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 既に改善済 <input type="checkbox"/> 改善を検討したが、実施に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 改善した事項は、ない
改 善	ニーズ等の状況と課題	日中一時支援事業の委託事業者が市内にないため、市内での設置の要望がある。
	今後の改革改善策	要望の多い事業であることや、本事業の実施により、緊急時の対応など自立支援給付ではカバーできない部分の利用があることに配慮したい。また、市内での事業所開設を支援する。
改 善	改革改善により期待される効果	民間団体が行うレスパイトサービス(一時預かり事業)を行う団体を早期に育成し、市内でサービスが実施できれば、特に市内の障がい児をもつ親の支援となる。また、柔軟で小回りのきく民間の体制は、行政ではできない部分を補填することが可能。

事業(一次評価性)	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善する(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化する
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	レスパイトサービス(一時預かり事業)を行う団体を早期に育成し、市内でサービスが実施できるよう支援する。

一次評価日	平成21年6月26日	一次(事後)評価責任者	関根 勇
二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了	
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善する(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化する	
二次評価日		説明	